名古屋大学の研究者による最先端の研究紹介
（探究 AKCⅡα：3年生文型）



● **期日・場所**
令和8年9月3日（木）、10日（木）5限　岡崎高校　3年生教室

● **参加者**
岡崎高校3年生文型全生徒、岡崎高校職員

● **内容**
名古屋大学との連携事業の一環として実施しました。3年生文型生徒は、2年次から「経済」「国際」「家族・ジェンダー」「地域・文化」の4講座に分かれ、課題研究に取り組んできました。今回は、各分野の最先端研究に携わる名古屋大学の研究者の先生方をお招きし、ご講義をいただきました。生徒たちは、自らの課題研究の先に広がる学問の奥深さや魅力に触れることができました。

【経済】 木越　義則　教授　（名古屋大学大学院経済学研究科）
「ノーベル経済学賞と歴史学」
【国際】 水島　朋則　教授　（名古屋大学大学院法学研究科）
「外交特権に関する国際社会のルールについて考える―いくつかの新聞掲載メントを素材として―」
【家族・ジェンダー】 大森　万理子　准教授　（名古屋大学大学院教育発達科学研究科）
「私たちの『ふつう』はどう作られてきたのか―家族とジェンダーの歴史」
【地域・文化】 日比　嘉高　教授　（名古屋大学大学院人文学研究科）
「AI で／と読む文学」